

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	41 その他(生態系保全)
取組	放流・植栽を通じた在来生物の育成		
取組概要	生物多様性保全の観点から、地域内に以前から生息していたが、近年減少していると感じられる生物について、放流・植栽したり、生息環境を継続的に確保するための適正な維持管理を行うこと。		
ふりがな 組織名	ほりたかんきょうほぜんくみあい 堀田環境保全組合	ふりがな 実施場所	ひみしほりた 氷見市堀田
活動内容	<p>将来を担う子どもたちに、生物多様性や環境保全に対する理解を深めてもらうため、児童クラブ及び老人会と連携し、集落内の用水路においてホタルの餌となるカワニナを放流する活動を実施している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>近年、用水路のコンクリート化や農薬の使用により、水路に生息するホタルの数が減少傾向にあることから、堀田環境保全組合を設立した平成19年度から毎年、ホタルの餌となるカワニナを放流し、ホタルの生態系を守る活動を行っている。併せて、参加した子どもたちはゲンジボタルとヘイケボタルの特徴や生態について学び、環境保全に対する意識の向上を図っている。</p>		
時期・回数	年1回(7月)		
参加者	活動組織の農業者・非農業者、児童クラブ父兄、小学生 約50人		
配慮事項	<p>活動の際には、子どもたちの安全を考慮し、車の交通量の少ない箇所を選んで実施した。氷見市においては、7月の第1日曜日を「氷見市一斉清掃の日」として、早朝から市内全域の海岸・河川・公園・公共施設周辺において、清掃活動や草刈作業をボランティアで実施しており、この日に合わせてカワニナの放流する活動を行うことで、環境について考える日として、毎年継続して実施している。</p>		